

## 2010年プロ野球「日本生命セ・パ交流戦」 グリーン電力の提供について

日本生命保険相互会社（社長 岡本罔衛）は、単独協賛しているプロ野球「日本生命セ・パ交流戦」全144試合のうち、環境月間である6月（※1）に開催される48試合（ナイトゲーム及びドーム球場のデーゲーム）の照明に自然エネルギーでつくられるグリーン電力を提供します。

日本野球機構とプロ野球12球団が開始した地球温暖化防止活動＜名称：「NPB Green Baseball Project（エヌピーシー・グリーンベースボールプロジェクト）」＞は、今年で3年目を迎えます。当社もその趣旨に賛同し、2008年・2009年に引き続きグリーン電力を提供することで、地球環境保護に向けた活動に貢献してまいります。

当社は、48試合の照明で使用される電力31万7千kWh分の「グリーン電力証書」を購入し、各球団に寄贈します。これにより試合で使用される照明の電力は、グリーン電力で賄われたとみなされ、約118t（※2）のCO<sub>2</sub>排出量の削減効果が見込まれています。

また、今回のグリーン電力の提供により、2008年から3年間で、累計100万5千kWh分の「グリーン電力証書」を寄贈することとなり、CO<sub>2</sub>排出量の削減効果は累計約386t（※3）となります。

「日本生命セ・パ交流戦」への単独協賛を通じてプロ野球を応援するとともに、引き続き地球環境の保護に努力してまいります。

（※1）1972年6月5日、ストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念し、国連が6月5日を「世界環境デー」と決めました。それにともない、日本では、環境庁（当時）の主唱により、1991年度から6月が「環境月間」とされ、全国で様々な行事が開催されています。

（※2）2009年電気事業連合会 全電力平均値（発電端）0.373kg-CO<sub>2</sub>/kWhにより算出しています。

（※3）2008年、2009年分は、2003年電気事業連合会 全電力平均値（発電端）0.389kg-CO<sub>2</sub>/kWhにより算出しています。

以上

## <ご参考>

### ■日本生命の地球環境の保護に向けた取組

- 平成4年から(財)ニッセイ緑の財団とともに「ニッセイ100万本の植樹運動」を開始し、平成14年に100万本の植樹を達成しています。平成15年からは、「ニッセイ未来を育む森づくり」として、植樹・育樹活動に取り組んでいます。
- 平成13年5月に「環境憲章」を制定するとともに、オフィス内での省エネルギー・省資源・リサイクルを進めています。また、平成13年12月には大阪本店・東京本部において、環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」の認証を取得しました。
- 資産運用部門におけるCSR(企業の社会的責任)の一環として、
  - ・保有するテナントビルのうち152棟について、環境に配慮したリニューアルにより、排出するCO<sub>2</sub>を削減する計画を策定しています。(平成19年度～)
  - ・「環境配慮型」融資金利の優遇制度を導入し、省エネルギー・耐震性に優れた住宅を新築・購入される個人のお客様への住宅ローン、および「ISO14001」等の認証を取得されている中小企業のお客様への融資について金利の優遇を実施しています。(平成19年度～)
  - ・個人のお客様を対象に、「太陽光発電システム設置住宅」(平成20年度～)や、「長期優良住宅」・「エコ住宅」(平成21年度～)への住宅ローン金利の優遇制度を導入しています。
  - ・環境や社会に貢献する企業を資金面で支援するために、ニッセイアセットマネジメント株式会社が設定するSRI(社会的責任投資)ファンドへの投資を行っています。(平成20年度)
- 平成22年4月に、大阪本店・東京本部で使用する電力の6%に相当する、180万kWhのグリーン電力の利用契約を延長しました。(平成20年度～)

### ■グリーン電力証書を活用した、グリーン電力提供の仕組み

当社が、風力、バイオマス(生物資源)などの自然エネルギーにより発電された電気の環境付加価値を「グリーン電力証書」という形で購入することで、グリーン電力を提供します。

